

「激変するインドの最新ビジネス事情」 ～日印実務家から見たビジネスチャンス、法律問題の現状と展望～

拝啓、貴社ますますのご隆昌慶賀に存じます。

さて、2019年5月30日に発足した第2次モディ政権は、インドが2030年までに日本を抜いて世界第3位の経済大国となることを目標としています。米中の貿易戦争がエスカレートするなか、インド最大の貿易相手国である中国はインドに対する直接投資を急増させています。デジタル革命が顕著となり、新しいビジネスモデルを探す日本企業にとっては、新興市場でありながら透明性高い資本主義を誇るインドは非常に魅力的な存在であるとともに、インド進出をするにあたって、インド国内市場だけでなくアフリカ市場も同時に視野に入れることが可能となっています。

そこで当組合では2018年9月に続き、インド最大の商業都市ムンバイに本店を構えるコンサルタント会社兼会計士事務所SKP社から、インドビジネスの専門家（日本企業と10年の交流実績）を招き、インドにおけるインフラ、ヘルスケア、フィンテック等の新興企業、有望産業分野の現状と今後5年間の展望について、日本企業の目線から現地のホットな情報を提供していただくことにしました。

また、ムンバイ・バンガロールでの駐在経験を踏まえ長年日系企業のインドビジネス法務に携わる西村あさひ法律事務所の鈴木多恵子弁護士から、インドが更なる経済成長をとげるうえで改革が必須となる主要法律問題（外資規制、労務、税務等）と日系企業が特に踏まえるべきリーガルイシューについて解説いただきます。

ご関心のある組合員企業等におかれましてはご参加頂きたくご案内申し上げます。 敬具

記

日時：2019年7月16日（火）14:00～16:00

場所：日本機械輸出組合 第一会議室 (<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>)

1. 講演「第2次モディ政権の新産業政策における日本企業のビジネスチャンス」（70分）
講師：SKP社（インドコンサルタント兼会計士事務所）<https://www.skpgroup.com/>
Himanshu Godara / Senior Manager, Global Marketing
(MBA インド経営大学院 Indore 校、インド工科大学 Roorkee 校 (Civil Engineering))

※講演は英語で行われます。適宜、鈴木弁護士が日本語で解説を加えます。

2. 講演「第2次モディ政権の法制度改革と日系企業へのインパクト・留意点」（40分）
講師 西村あさひ法律事務所 インドプラクティスチーム
カウンセラー 鈴木 多恵子 氏（日本法資格弁護士）

3. 質疑応答（10分）

参加ご希望の方は7月11日（木）までに下記のセミナー開催案内からお申込み下さい（先着40名）

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm>

お問合せ先：日本機械輸出組合プラント業務グループ（担当：田平、田中）T:03-3431-9808/ tanaka@jmcti.or.jp